

【資料紹介】

鎌倉芳太郎資料より「琉球絵画資料一覧表」

山田 葉子

「鎌倉芳太郎資料」とは、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館が所蔵する、鎌倉芳太郎（一八九八～一九八三・以下鎌倉）が大正末から昭和初期にかけて行った沖縄文化調査の結果残された調査資料の総称である。美術研究家・紅型作家である鎌倉は、尚王家縁の宝物をはじめ、建築、絵画、彫刻、工芸品などの貴重な文化財を数多く調査し、資料の収集を行った。その調査の軌跡については、「鎌倉芳太郎の前期琉球芸術調査と美術観の変遷」（原田あゆみ、『沖縄芸術の科学』、沖縄県立芸術大学附属研究所紀要十一、一九九九）に詳しいため、本稿では割愛する。

鎌倉の沖縄調査は、戦前に資金援助を受けていた啓明会で報告会が行われた後は、第二次世界大戦という時節柄沈黙を余儀なくされた。次に大きく注目を集めるのは一九七二年、沖縄本土復帰を記念して開催されたサントリ―美術館及び琉球政府立博物館（現沖縄県立博物館・美術館）「五〇年前の沖縄―写真で見る失われた遺宝」展でのことである。

この時公開された鎌倉の写真資料は、戦火によって失われた沖縄文化の姿をつぶさに記録していることから沖縄県民の間に大きな反響を巻き起こした。反響の余りの大きさに呼応し、鎌倉は一九八二年岩波書店より『沖縄文化の遺宝』を刊行する。膨大な調査資料を元に、「沖縄文化成立の背景」「沖縄各地の遺宝と遺跡と神事」「琉球絵画の系譜」「琉球の工芸」の四章を論じ五四一点の写真を所載した写真編を加えた本書は、沖縄文化研究の基礎文献の一角を為している。

鎌倉の残した調査資料は、一九八六年の沖縄県立芸術大学開学に際して寄贈が為された。その後も遺族によって段階的に寄贈が続き、二〇〇七年までの間に4回を数えている。資料は写真資料、調査ノート、文献資料、紅型資料など多岐にわたり、総点数はおよそ六〇〇〇点にのぼるのではないかとされている。このうち写真資料の一部と調査ノートは、歴史的な貴重性が認められ、二〇〇五年に国の重要文化財指定を受けている。

鎌倉が残した文献資料の中では、この調査ノートが広く研究対象とされている。これら八一冊からなる資料群は通称「鎌倉ノート」と呼ばれ、調査の際鎌倉本人によって作成されたフィールドノートである。ノートによっては、調査時の走り書きだけでなく、おそらく調査から戻って情報がある程度整理し、清書したと思われるものまでが含まれるが、いずれにしろ調査の際の最も初期の段階で作られた調査メモといつてよいものである。鎌倉はこれらの調査メモを元に更に情報の整理・分析を行っており、鎌倉資料の中にはそういった調査の第二段階とも言うべき、鎌倉自身が調査情報を整理した分析資料も含まれている。

本稿で紹介する資料は鎌倉が作成した分析資料の内の一つである。対象となっているのは絵画資料で、「鎌倉ノート」から資料の情報を抜き出し、一覧表化している。余談になるが鎌倉は琉球美術の中でもとりわけ絵画資料に注目していたようで、『沖繩文化の遺宝』の中でも美術・工芸の中から絵画だけを独立させて紙幅を割いて論じている。

なお当該資料は「沖繩県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵 鎌倉芳太郎資料目録」（沖繩県立芸術大学附属研究所 一九九八、三）に所載されており、この中では1・鎌倉資料文献資料目録（2）鎌倉芳太郎収集文書・原稿・文献その他目録【鎌倉芳太郎資料追加目録】資料番号二十一「文書筆写原稿・ノート類」表題：「絵画資料目録」となっている。実資料の題名部分が破損して欠けているため目録でも仮題が付されているが、本稿では便宜的に「琉球絵画資料一覧表」という名称を付けた。

本資料は、市販の罫紙を縦に使い、インク及び鉛筆を使用して縦書きで表が書かれている。かつてはB4サイズ大の罫紙を貼り合わせた形状で折り曲げられて保管されていたと推測されるが、現状は折り目の部分で破断しているため、大四、小四の八ピースに分断してしまっている。すべてのピースを元の形状に貼り合わせたと仮定すると、縦三七、五cm横約一二〇cmとなる。その他にも欠損して文字が不明な部分が数カ所ある。一番右側の行に鉛筆で「No.1」と書かれていることから、この行が表の始まりの行だと推測されるが、左側（表の終わりの部分）に更に別紙が続いていたかどうかは不明である。

表の列の側は七項目から成り、右から順に「仏画」其他信仰二関スル絵画、「肖像及人物画」、「花卉鳥獸及四君子」、

〔山水画〕、〔風俗二関スル絵画〕、〔八重山ノ絵図〕、国王御後絵参考資料、とある。番号は付されていない。

行の側は六段から成り、項目名にあたる一番右側の行が欠損しているため正確な名称は不明だが、記載された内容で上から順に1・名称、2・作者、3・制作年代、4・所在地、5・所有者、6・大きさ、と推察される。この中に絵画資料一二点、国王御後絵参考資料六点が表化されている。

まとめると、当該資料は鎌倉の調査対象となった琉球絵画の一覧であり、当時沖縄に存在した絵画の名品を所有者・所在地・大きさなどの資料の持つ情報と共に一望する事ができるため、今後琉球絵画の研究を進める上で興味深い資料であると同時に、鎌倉の琉球絵画研究の足跡を物語るものである。

また、写真資料との関連も考察の余地がある。表の一部には「同上細部」と書かれたものが数点あるのだが、鎌倉が撮影した写真資料の中には絵画資料の一部をクローズアップしたものが多数存在するため、あるいはこの表は絵画資料の撮影記録とも考えられ、鎌倉写真資料の研究上比較の対照となりうる資料であるとも考えられる。

今後更に資料の分析が進み、鎌倉が残したノート以外の調査資料の意味するところが解明され、調査の対象となった現在では失われてしまった琉球美術の全容が明らかにされる事が期待される。

註：(1) 翻刻にあたり、旧漢字は新漢字に改めた。

(2) 判読不明の字は■で示した。

(3) 本人による塗りつぶしは●で示した。

(4) 欠損した文字は□で示し、推定した場合は≪内「一か」と示した。

(5) 資料は大部分がインク書きであり、鉛筆書きの部分は〈内〉に示した。

(6) 欠損についての註は「」で示した。

参考文献

原田あゆみ 一九九九 「鎌倉芳太郎の前期琉球芸術調査と美術観の変遷」『沖縄芸術の科学』（沖縄県立芸術大学附属研究所紀要）
 十一号：二五—一三七頁

沖縄県立芸術大学附属研究所 一九九八 『沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵 鎌倉芳太郎資料目録』

鎌倉芳太郎 一九八二 『沖縄文化の遺宝』岩波書店

△NO・I▽	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕
〔仏画〕其他信仰二関スル絵画	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕
新宮薬師如来像	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕	〔この行欠損〕
本宮阿弥陀像		□□《尚真王か》二年（一四七〇）	□□□□図書館 《沖縄県立か》			
円覚寺 金剛法会図（全図）		尚真王時代 （自一四七七年至一五二五年）	首里市一円覚寺仏殿			
同上細部（一）・・・（一〇）△細部▽			沖縄県立図書館			
渡海観音像	伝自了欽可聖城間清豊 （自一六一四年至一六四四年）		那覇市一臨海寺			横 縦・・・ 75.3cm ・・・ 46.1cm
同上細部（頭部）△細部▽						
白澤（俗称夢喰）図	自了欽可聖城間清豊 （自一六一四年至一六四四年）					横 縦・・・ 82.8cm ・・・ 35.8cm
普庵禅師画像	石嶺親雲上唯莫	尚真王●二十九年（一六九七年）	首里市一円覚寺仏殿			横 縦・・・ 30.3cm
国王廟天井画（一）・・・（十二）	伝殷元良座間味庸昌 （自一七六七年至一七七八年）		那覇市一崇元寺			
国王廟壁画（一）・・・（三）	伝殷元良座間味庸昌 （自一七六七年至一七七八年）		那覇市一崇元寺			

閔帝王図	向受祐玉城朝薫 (自一七三四年至一七八四年)	尚敬王●●十九年(一七三二年)		那霸市一玉城氏	横 竖 ●13.7cm 108.6cm 54.7cm
閔帝王●●図	吳着温屋慶名政賀 (自一七三〇年至一八〇〇年)	尚温王●●元年(一七五二年)		那霸市一宮里才シ卜氏	横 竖 152.6cm 154.1cm
孔子影像	毛長禱佐渡山安健 (自一八〇〇年至一八六五年)	尚温王●●元年(一七九五年)		那霸市一尚順男爵家	横 竖 155.8cm 154.7cm
閔羽●●像	毛長禱佐渡山安健 (自一八〇〇年至一八六五年)	尚温王●●元年(一七九五年)		那霸市一末吉安恭氏	横 竖 155.8cm 154.1cm
閔羽●●像	毛文達小波藤安章 (自一八三二年至一八六六年)	尚温王●●元年(一七九五年)		那霸市一末吉安恭氏	横 竖 155.8cm 154.1cm
(肖像及人物画)					
初代 尚円王御後絵					
三代 尚真王御後絵					
五代 尚元王御後絵					
七代 尚寧王御後絵					
八代 尚豊王御後絵					
十一代 尚貞王御後絵	吳師虔山口宗季 (自一六七二年至一七四一年)	尚豊王薨去八崇禎十三年(一六四〇年)		首里市 尚侯爵家	横 竖 135. cm 157.7cm
十三代 尚敬王御後絵	殷元良座間味庸昌 (自一七六七年至一七八一年)	尚豊王薨去八康熙四十八年(一七〇九年)		首里市 尚侯爵家	横 竖 150.7cm 155.9cm
十四代 尚穆王御後絵	向元瑚小橋川朝安 (自一七四一年至一八〇六年)	尚穆王●●元年(一七五二年)		首里市 尚侯爵家	横 竖 154.1cm 155.8cm
十七代 尚灑王御後絵	毛長禱佐渡山安健 (自一八〇六年至一八六五年)	尚穆王●●元年(一七五二年)		首里市 尚侯爵家	横 竖 152.6cm 154.1cm

□八代 尚育王御後絵	毛長禎佐渡山安健 (自一八〇六年 至一八六五年)	尚泰王 ●●五年 (一八五二年)		首里市 尚侯爵家	横 縦 156. cm 152.1cm
尚寧王太子尚恭浦添王子朝良像		太子薨去八崇禎四年 (一六三二年)		首里市 高嶺朝教氏	横 縦 134.5cm 91.5cm
同上細部 (一).....(六) (細部)					
描キ改メラレタル同画像		尚灑王時代 (自一八〇四年 至一八三四年)		首里市 高嶺朝教氏	横 縦 150.5cm 93.8cm
尚純公御後絵				首里市 尚侯爵家	横 縦 171cm 130.9cm
銘苅王子画像	殷元良仲松庸昌改画 (一七四〇年) 張氏烏袋筑登之親雲上改画 (一七七二年)	原作年代不詳	島尻郡 銘苅御殿		横 縦 38.4m 50.4cm
呉鶴齡画像		尚寧王時代 (自一五八九年 至一六二〇年)		那覇市 大宜味朝隆氏	
程順則画像		尚敬王時代 (自一七五一年 至一七九一年)		那覇市 名護氏	
前川親方画像 (画稿)		尚貞王時代 (自一六六九年 至一七〇四年)		首里市 宜湾朝起氏	横 縦 23.2cm 15. cm
前川親方画像		尚灑王時代 (自一八〇四年 前後)		首里市 宜湾朝起氏	横 縦 132cm 74.2cm
向国鼎玉城朝昆画像		尚灑王時代 (自一八〇四年 至一八四四年)		島尻郡 玉城朝賢氏	横 縦 112.4cm 62.8cm
向崇徳玉城朝勳画像		尚泰王時代 (自一八七九年 至一八四八年)		島尻郡 玉城朝賢氏	横 縦 132.7cm 80.2cm
向有恒宜湾朝保画像	惠光翰友寄築登之一	明治十五年 (一八八二年)		首里市 宜湾朝起氏	横 縦 116.9cm 51.5cm
高士道遙図	自了 欽可聖城間清豊 (自一六四四年 至一六四四年)			首里市 玉城盛康氏	横 縦 115.7cm 50.4cm
三高士囲碁図	自了 欽可聖城間清豊 (自一六四四年 至一六四四年)			首里市 伊江朝猷氏	横 縦 79.3cm 39.6cm
松下三仙図	自了 欽可聖城間清豊 (自一六四四年 至一六四四年)			首里市 渡嘉敷通昭氏	横 縦 86.6cm 45.8cm
陶淵明図	自了 欽可聖城間清豊 (自一六四四年 至一六四四年)			首里市 譜久山朝宣氏	

雪景花鳥図	殷元良座問味庸昌 (自一七六七年)			那覇市 屋慶名政方氏	縦・横 143.1cm 72.8cm
(花卉鳥獸及四君子)					
寿老人図	翁宏熙伊良皆盛昆 (自一七七八年)			那覇市 崎原氏	縦・横 124.8cm 66.5cm
鐘 <small>ツ</small> 圖 (衝立裏面)	向元瑚小橋川朝安 (自一八四一年)			首里市 尚侯爵家	
□□三笑図 (衝立表面)	向元瑚小橋川朝安 (自一八四一年)			首里市 尚侯爵家	
〔この行欠損〕				首里市役所	
寿老人図	向元瑚小橋川朝安 (自一七四一年)			首里市役所	縦・横 108.8cm 42.7cm
巴陵橋図	向元瑚小橋川朝安 (自一八四一年)			首里市 伊江朝猷氏	縦・横 130.2cm 42.7cm
普化禪師図	殷元良座問味庸昌 (自一七六七年)			那覇市 佐久川氏	縦・横 106.2cm 33.4cm
銘苜子天女図	原作殷元良仲松庸昌 改作張氏島袋筑登之親雲上	原作 高敬王二十八年(一七四〇年) 改作尚泰王二十五年(一八七二年)	島尻郡 銘苜御殿	沖繩県立図書館	縦・横 91.4cm 45.1cm
李白觀瀑図	伝自了 海北友松ノ印章アリ				縦・横 91.4cm 45.1cm
同上細部 (婦去來辞) ^細部^					
同上細部 (陶淵明) ^細部^					
陶淵明図	自了 欽可聖城問清豊 (自一六四四年)			首里市 高順男爵家	

粟鷄図	股元良座間味唐昌 (自一七六七年)				首里市 豊見城朝熙氏	横 89.8cm 縦 43.7cm
同上細部						
粟鷄図	股元良座間味唐昌 (自一七六七年)				那覇市 宮里オミト氏	横 100.5cm 縦 44.1cm
粟鷄図	股元良座間味唐昌 (自一七六七年)				首里市 尚侯爵家	横 101.8cm 縦 49cm
倣周子冕之花鳥図	股元良座間味唐昌 (自一七六七年)				首里市 高嶺朝教氏	横 101cm 縦 33.8cm
早春花鳥図	股元良座間味唐昌 (自一七六七年)				那覇市 宮里オミト氏	横 103cm 縦 45.8cm
四季花鳥絵巻(一)・(二)	支那 孫億				首里市 読谷山朝慶氏	
竹朝顔鴛鴦図(三幅対ノ一)	向元瑚小橋川朝安 (自一七四八年)				首里市 豊見城朝熙氏	横 103cm 縦 45.8cm
桐牡丹鳳凰図(三幅対ノ二)	向元瑚小橋川朝安 (自一七四八年)				首里市 豊見城朝熙氏	横 103.7cm 縦 45.8cm
老松鶴図(三幅対ノ一)	向元瑚小橋川朝安 (自一七四八年)				首里市 豊見城朝熙氏	横 103.7cm 縦 45.8cm
桐牡丹鳳凰図ノ一部	向元瑚小橋川朝安 (自一七四八年)				那覇市 宮里オミト氏 (全 縦 107.4cm 横 47.5cm)	
蘆雁図	慎思九泉川寛永 (自一八四四年)				那覇市 宮里オミト氏	横 116.1cm 縦 49.3cm
閩雛はなたれ之図					首里市 尚侯爵家	横 110.2cm 縦 53.6cm
同上細部(蝶)						
閩雛尾花祖父之図					首里市 尚侯爵家	横 99.5cm 縦 55.3cm
閩雛尾花之図	慎思九泉川寛永 (自一七六七年)				首里市 尚侯爵家	横 95.3cm 縦 72.3cm
蘆雁図	翁宏熙伊良皆盛昆 (自一八四八年)		尚瀬王 ●二十九年(八三三年)		那覇市 崎原氏	横 110.6cm 縦 50.8cm

牡丹図(柱懸表面)	毛文達小波藏安章 (至自一八八三年)			首里市 浦添朝顯氏	横 縦 140.4cm 72.9cm
閩雜図	毛長禧佐渡山安健 (至自一八〇六年)			那霸市 宮里オミト氏	横 縦 117.5cm 60.1cm
同上細部(雛雞)					
同上細部(雛雞)					
閩雜集之図	毛長禧佐渡山安健 (至自一八〇六年)	尚音王 ●●●六年(一八四〇年)		首里市 尚侯爵家	横 縦 117.5cm 60.1cm
同上細部(薔薇花)					
閩雜花房之図	毛長禧佐渡山安健 (至自一八〇六年)			首里市 尚侯爵家	横 縦 136.9cm 73.6cm
柳椿双鳩図	毛長禧佐渡山安健 (至自一八〇六年)			那霸市 安江氏	横 縦 115.3cm 42.8cm
牡丹尾長鳥図	毛長禧佐渡山安健 (至自一八〇六年)			那霸市 比嘉朝健氏	横 縦 115.5cm 44.7cm
桃竹白鴨図	毛長禧佐渡山安健 (至自一八〇六年)			那霸市 比嘉朝健氏	横 縦 115.7cm 44.4cm
梅尾長鳥図	毛長禧佐渡山安健 (至自一八〇六年)			那霸市 比嘉朝健氏	横 縦 116.0cm 44.5cm
鷹捕小禽図	毛長禧佐渡山安健 (至自一八〇六年)			那霸市 比嘉朝健氏	横 縦 115.3cm 44.1cm
白鷹図(衝立表面)				首里市 尚侯爵家	
白鷹絵馬	翁安熙伊良皆盛昆 (至自一八四八年)	尚穆王 ●●四十二年(一七九三年)	島尻郡 銘苜御殿	首里市 屋宜朝喜■氏	横 縦 34.1cm 49.9cm
秋景花鳥図					
水辺小禽図	翁安熙伊良皆盛昆 (至自一八四八年)			那霸市 崎原氏	横 縦 112.8cm 47.9cm

神猫図	股元良座問味庸昌 (自一七七八年)				首里市 尚順男爵家	横 100.8cm 縦 45.3cm
●猛虎図	股元良座問味庸昌 (自一七七八年)				那覇市 屋慶名政方氏	横 167.2cm 縦 94.8cm
猛虎図	向元瑚小橋川朝安 (自一八四一年)				那覇市 宮里才三氏	横 155.5cm 縦 88cm
猛虎図	向元瑚小橋川朝安 (自一八四一年)				沖繩県立図書館	横 122.8cm 縦 52.5cm
猛虎図	向元瑚小橋川朝安 (自一八四一年)				沖繩県立図書館	横 122.8cm 縦 52.5cm
野国名馬図	慎思九泉川寛永 (自一八四七年)				首里市 尚侯爵家	
群馬図	向延楮宜湾朝昆 (自一八三五年)				首里市 宜湾朝起氏	横 72.3cm 縦 128.8cm
猛虎図	毛長禧佐渡山安健 (自一八〇六年)				沖繩県立高等女学校	横 167.5cm 縦 90.3cm
墨竹図	鄭嘉訓小波蔵泰橋 (自一八三二年)				那覇市 小波蔵必達氏	横 80.8cm 縦 59.6cm
墨竹図	鄭嘉訓小波蔵泰橋 (自一八三二年)				那覇市 山里永昌氏	横 100cm 縦 30cm
蘭之図	筆山毛世輝我謝盛保 (自一八二七年)				那覇市 比嘉朝健氏	横 55.8cm 縦 37.7cm
竹之図	向有恒宜湾朝保 (自一八二三年)				首里市 宜湾朝起氏	横 34cm 縦 45cm
(山水画)						
山水図	股元良座問味庸昌 (自一七七八年)				那覇市 比嘉朝健氏	

